

議会だより

発行／毛呂山町議会
編集／毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



卒園式（若草保育園）

3月の定例会

平成23年度一般会計予算	2～3P
平成23年度特別会計予算等	4P
平成22年度補正予算・議案の審議結果	5P
条例の改正等	6P
委員会のレポート	7P
一般質問	8～11P
表彰・議会の動き・全員協議会ほか	12P

平成23年4月20日発行

第 72 号

この用紙は再生紙を使用しており、議員の自主編集で発行しています。

一般会計予算

3月議会定例会

95億4,300万円

(前年比7.0%増)

平成23年3月定例会は、2月28日から3月18日までの会期で開催されました。主な議題は条例の制定1件、条例の一部改正4件、条例の廃止1件、補正予算6件、当初予算6件、町道の路線廃止認定各1件、協定の締結1件、報告2件の審議をしました。なお、議案審議に先立ち一般質問は8名が登壇、活発な質問が展開されました。

小学校のトイレ洋式化と 中学校の木質化が始まる！

平成23年度 事業の主な内容

予算総額は歳入・歳出それぞれ95億4,300万円
で、昨年に比べて6億2,300万円、7.0%の増額です。

総務費

町内循環バス事業…………… 1,068万円
町長選挙…………… 1,184万円

民生費

子ども手当…………… 6億9,258万円
子ども医療費（中学終了まで）…………… 6,603万円
民間保育所委託料…………… 2億6,919万円

衛生費

特定健康診査委託料…………… 2,193万円

商工費

商工会補助金…………… 754万円

土木費

町道整備事業（維持・新設改良）… 2億3,170万円
長瀬駅橋上駅舎整備工事…………… 2億円

教育費

小学校トイレ改修工事…………… 2,000万円
毛呂山中学校武道場新築工事…………… 1億4,952万円
中学校木質化改修工事設計委託料…………… 546万円
(賛成多数可決)

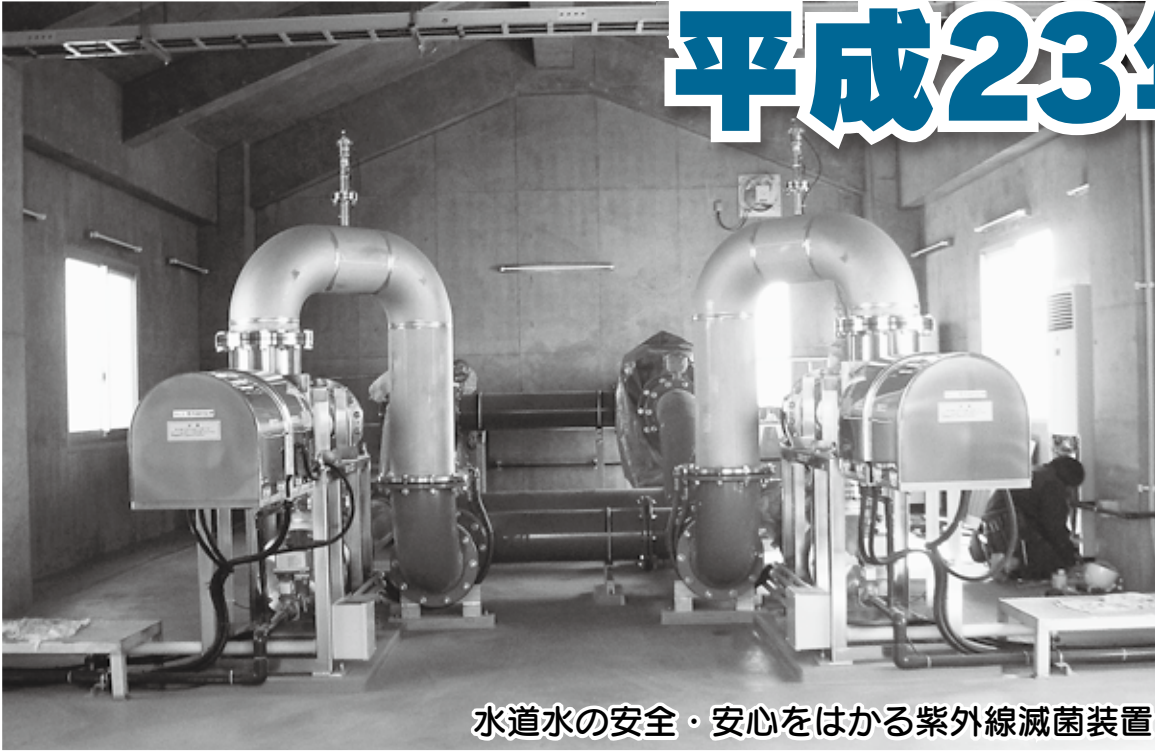
被災地の皆様から

お見舞い申し上げます

3月11日に発生した東日本大震災及び津波により被災された皆さま、また、福島第一原子力発電事故で避難を余儀なくされた皆さまに心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

毛呂山町議会

平成23年度



水道水の安全・安心をはかる紫外線滅菌装置(苦林浄水場)

一般の予算意識

反対

藤岡健司議員

日本は低所得者層の税負担が重く、支給される給付が少なすぎる国になってしまいました。町民は、深刻な不況で多くの方々がさまざまな問題を抱え、苦しんでいる時です。こうした方々の生活を守ることをより重点をおき、予算配分をするべきではないでしょうか。武州長瀬駅自由通路及び橋上駅舎整備工事の施工については、町民の理解が得られないのではないのでしょうか。

評価できる。特に扶助費が大幅に増加している中で、武州長瀬駅北口周辺地区整備事業や町道整備事業等の投資的経費も増加している点は積極的に財源確保に努力したものと認められる。今後も健全な財政運営と町の更なる発展を希望して賛成する。

岡野勉議員

歳入で町民税が約1億円も減額した厳しい予算だが、全体として住民要望を取り入れた予算であり安心安全な町づくりを目指している。学校の耐震化、新保育所の設計費の計上、生活道路の充実、「特定健診」受診率の向上。中学校2校の木質化設計委託料等。しかし臨時職員の増加、長瀬駅の橋上駅舎化など懸念事項もあるが、全体として「住民と行政、議会の協働で」希望を実現に結実できる予算であり賛成とする。

岡部和雄議員

期待から失望に転じた民主党政権だ。地方経済は疲弊する。議会と行政が5年後の町の未来予想図第4次総合振興計画が策定された。責任重大である。町が自立する礎となる開発許可事務の委譲を受ける。議員提案の各種ワクチン予防接種を実施。学校の木質化、トイレの改修を予算化。障害者就労支援センターを設置。小沢町長の最後の予算だ。今後の町の発展を見守っていただきたい。

賛成

宮寺征二議員

歳入面で町税が前年度より大幅に下回る状況にありながら、前年度の当初予算と比較して7%の増額となる予算編成ができたことは

小峰明雄議員

本町の重点施策として、教育施策と少子化対策・子育て支援対策が大切であると、一貫して言い続けてきました。教育費予算は、対前年度比18・1%の伸び率で、私が切望しておりました小学校トイレ改修工事が予算計上されるなど、教育施設の整備に重点が置かれており評価します。引き続き中学校修了までの、こども医療費の無料化など積極的に少子化対策に取り組んでいる姿勢は評価します。

平成23年度

特別会計当初予算

国民健康保険特別会計

歳入歳出45億1,658万円（6.1%増）

◎主な歳入・歳出

○歳入

国民健康保険税
9億3,317万7千円
国庫支出金
9億8,215万2千円
療養給付費等交付金
2億2,739万6千円
前期高齢者交付金
12億7,265万7千円
県支出金
2億542万5千円
共同事業交付金
5億7,040万3千円

○歳出

保険給付費
32億327万5千円
後期高齢者支援金等
5億2,049万7千円
介護納付金
2億774万9千円
共同事業拠出金
5億838万4千円

（賛成多数可決）

水道事業会計

収益的収入及び支出

収益的収入 7億8,992万5千円
収益的支出 7億7,021万3千円
損益勘定 1,046万4千円の純利益

資本的収入及び支出

資本的収入 1,093万5千円
資本的支出 4億4,809万1千円
収入額が支出額に対して不足する額4億3,715万6千円は補てん財源をもって補てんする。

◎主な事業

資本的支出の建設改良で配水施設設備費として石綿セメント管更新事業等

（賛成多数可決）

武州長瀬駅自由通路及び橋上駅舎整備工事の施工に関する基本協定の締結について

1. 工事名 武州長瀬駅自由通路及び橋上駅舎整備工事
2. 協定の相手方
東京都墨田区押上一丁目1番2号
東武鉄道株式会社、取締役代表 根津嘉澄
3. 協定の金額 8億5,650万円
4. 負担額
毛呂山町 8億4,360万円
東武鉄道 1,290万円
5. 工期 平成25年3月31日迄
6. 工事内容 自由通路工事・橋上駅舎工事

（賛成多数可決）

農業集落排水事業特別会計

農村地域における生活環境の整備と河川や用排水路などの水環境の保全を目的とした事業。

歳入歳出2,733万4千円（4.6%減）

◎主な歳入

一般会計繰入金 1,687万円
使用料及び手数料 441万5千円

◎主な歳出

事業費（委託料等） 1,133万円

（全員賛成可決）

介護保険特別会計

歳入歳出16億5,972万円（7.1%増）

高齢者が安心して暮らせるために介護予防を推進
介護保険制度の定着により、介護サービス利用者が
増え、保険給付費が増大しています。そのため、
高齢者が介護を必要とする状態にならず、健康で元
気な状態を維持できるよう、予防給付及び地域支援
事業に重点をおいた予防重視型の事業を推進しま
す。

とくに、地域包括支援センターを中心として、地
域の高齢者福祉の増進を包括的に支援するため地域
支援事業費3,204万2千円を計上し、介護予防事業を
さらに推進します。

（賛成多数可決）

後期高齢者医療特別会計

埼玉県内の全市町村が加入している埼玉県後期高
齢者医療広域連合と市町村が連携し事務を行って
います。町では受付窓口業務と後期高齢者医療保険料
の徴収業務を担当しています。

歳入歳出2億6,321万6千円（1.9%増）

◎主な歳入

後期高齢者医療保険料 1億9,446万9千円

◎主な歳出

埼玉県後期高齢者医療広域連合事務費負担金
915万円
保険料等納付金及び保険基盤安定負担金
2億4,616万5千円

（賛成多数可決）

平成22年度

補正予算

一般会計（第6号）

予算総額98億4,675万3千円

歳入歳出それぞれ3,126万3千円減額

◎主な内容

- 毛呂山町地域情報通信基盤整備推進補助金の減
- 介護給付費・訓練等給付費の追加
- 後期高齢者医療保険基盤安定繰出金の追加
- 国民健康保険基盤安定繰出金の追加
- 妊婦健診委託料の減額
- 予防接種委託料の追加
- 土地開発基金購入公有財産買戻し

(全員賛成可決)

国民健康保険特別会計（第3号）

予算総額43億7,355万2千円

歳入歳出それぞれ5,224万2千円追加

◎主な内容

- 一般被保険者療養費の追加
- 国への償還金の追加
- 予備費の追加

(全員賛成可決)

水道事業会計（第2号）

収益的収入及び支出

収益的収入は250万円減額 合計7億2,856万円

収益的支出は331万円減額 合計7億5,042万円

資本的収入及び支出

資本的支出は7,818万円増額で、収入額が支出額に対して不足する額4億3,994万円は補てん財源をもって補てんします。

(全員賛成可決)

介護保険特別会計（第2号）

予算総額16億1,543万7千円

歳入歳出それぞれ4,181万8千円減額

◎主な内容

- 保険給付費の支払い見込み額を算定し、施設介護サービス給付費等を増額、地域密着型介護予防サービス給付費及び高額介護サービス等を減額

(全員賛成可決)

後期高齢者医療特別会計（第2号）

予算総額2億5,348万3千円

歳入歳出それぞれ382万9千円減額

◎主な内容

- 埼玉県後期高齢者医療広域連合からの算定資料及び事務費等の見込み額を算定し、総務費及び後期高齢者医療広域連合納付金を減額

(全員賛成可決)

老人保健特別会計（第2号）

予算総額1,081万7千円

歳入歳出それぞれ25万5千円増額

◎主な内容

- 一般会計清算繰出金の増額

(全員賛成可決)

議案の審議結果（3月定例会）

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

議案	議員名（期数順）	宮寺征一	藤岡健司	下田一甫	岡野勉	川上伸子	伊藤和由	菅野博子	小峰明雄	栗田秀彦	岡部和雄	堀江快活	審議結果
3	毛呂山町都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
4	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
5	毛呂山町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
6	毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
7	毛呂山町営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	可決
8	毛呂山町障害者地域デイケア施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
9	平成22年度毛呂山町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
10	平成22年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
11	平成22年度毛呂山町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
12	平成22年度毛呂山町老人保健特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
13	平成22年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
14	平成22年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
15	平成23年度毛呂山町一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
16	平成23年度毛呂山町国民健康保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
17	平成23年度毛呂山町水道事業会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
18	平成23年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
19	平成23年度毛呂山町介護保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
20	平成23年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
21	武州長瀬駅自由通路及び橋上駅舎整備工事の施行に関する基本協定の締結について	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	議	可決
22	町道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
23	町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

条例の制定・改正など

◎毛呂山町都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例

埼玉県知事から、都市計画法に基づき開発許可等の権限が移譲されることに伴い、開発許可等の基準に関する条例を定めまし

た。

(全員賛成可決)

埼玉県知事から、都市計画法に基づき開発許可等の権限が移譲されることに伴い、開発許可等の基準に関する条例を定めまし

た。

(全員賛成可決)

※4月1日から移譲される
主な事務

法第29条第1項に基づく

開発許可

法第36条第2項に基づく

検査及び検査済証の交付

法第43条第1項に基づく

建築行為等の許可

◎職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

職員が子の看護をするための休暇日数を小学校就学前の子が二人以上の場合

は5日から10日に変更、また、介護のための短期介護休暇(5日間)の新設をしまし

た。

(全員賛成可決)

◎毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産一時金35万円を39万円に引き上げました。

(全員賛成可決)

◎毛呂山町障害者地域デイケア施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

地域デイケア施設の設置及び管理が新体系に移行し、毛呂山町社会福祉協議会が継承するために地域デイケア施設の設置及び管理に関する条例を廃止しました。

(賛成多数可決)

◎毛呂山町営住宅管理条例の一部を改正する条例

暴力団員の町営住宅の入居を制限するため、また、入居者が指定の期限までに

町道第111号路線

中央地区

町道第3444路線

中央地区

町道第1226号路線

南台地区

町道第2223号路線

川角地区

町道第3966号路線

中央地区

町道第3967号路線

若山地区

町道第3968号路線

前久保南地区

家賃を納めなかったなどの場合は延滞金額が加算されるなどを定めました。

(賛成多数可決)

◎毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産一時金35万円を39万円に引き上げました。

(全員賛成可決)

◎毛呂山町障害者地域デイケア施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

地域デイケア施設の設置及び管理が新体系に移行し、毛呂山町社会福祉協議会が継承するために地域デイケア施設の設置及び管理に関する条例を廃止しました。

(賛成多数可決)

◎毛呂山町営住宅管理条例の一部を改正する条例

暴力団員の町営住宅の入居を制限するため、また、入居者が指定の期限までに

町道第111号路線

中央地区

町道第3444路線

中央地区

町道第1226号路線

南台地区

町道第2223号路線

川角地区

町道第3966号路線

中央地区

町道第3967号路線

若山地区

町道第3968号路線

前久保南地区

町道第3830路線

南台地区

◇町道の路線の認定

町道第1226号路線

南台地区

町道第2223号路線

川角地区

町道第3966号路線

中央地区

町道第3967号路線

若山地区

町道第3968号路線

前久保南地区

町道第3969号路線

南台地区

町道第7239号路線

毛呂本郷地区

◇町道の路線の廃止

町道第111号路線

中央地区

町道第3444路線

中央地区

(全員賛成可決)

常任委員会レポート

《生活福祉常任委員会》

平成23年度一般会計予算のうち、歳出の部で民生費・衛生費・労働費・農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費、特別会計予算の国民健康保険・水道事業・介護保険・農業集落排水事業・後期高齢者医療、条例2件、協定の締結、町道の路線の廃止・認定の審査を行いました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を実施し、慎重な審査を3日間行い、一般会計はじめ特別会計、条例などいずれも可決すべきものと決しました。



町道廃止認定現地視察（川角地内）

《総務文教常任委員会》

平成23年度一般会計予算のうち、歳入の部全部、歳出の部で議会費・総務費・消防費・教育費・公債費・諸支出金・予備費について審査を行いました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を実施し、慎重な審査を3日間行い、一般会計は、可決すべきものと決しました。



史跡・崇徳寺（すうとくじ）跡の購入地視察

一部事務組合選出議員の 構成変わる

議員3名の辞職に伴い毛呂山町議会から選出されている議員の構成が変わりました。

坂戸地区衛生組合議会

川上伸子 小峰明雄 栗田秀彦

埼玉西部環境保全組合議会

宮寺征二 下田一甫 伊藤和由 堀江快治

西入間広域消防組合議会

岡野 勉 川上伸子 栗田秀彦 岡部和雄
堀江快治

毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会

宮寺征二 藤岡健司 下田一甫 岡野 勉
伊藤和由 菅野博子 堀江快治

広域静苑組合議会

藤岡健司 菅野博子 小峰明雄 岡部和雄

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

宮寺征二議員 ① 町の財政

菅野博子議員 ① 毛呂山町の今後の保育行政

下田一甫議員 ① 農業振興地域と農用地指定

岡野 勉議員 ① 保育行政の充実

② 新年度予算

川上伸子議員 ① 期日前投票の宣誓書を簡素化に

② 薬物乱用防止

小峰明雄議員 ① 教育・子育て環境の充実

② 行財政改革

藤岡健司議員 ① 教育

② 雇用

③ 中小企業の支援策

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。尚、1名については辞職により省略。

毛呂山町の財政

厳しい財政運営を予想

宮寺 征二 議員

問 地方交付税等直接地方公共団体に係わる影響をどのように捉えているか。地方債の予定は。

答 地方交付税の総額は、前年度より2・8%、額にして479.9億円増額。地方交付税の振り替え機能を有する臨時財政対策債は、前年に比べ20・1%、額

にして1兆547.6億円減額。

結果、本町の平成23年度臨時財政対策債は、22年度実績額を1億6千万円近く下回る予想。

地方債は、臨時財政対策債を除き4種類の地方債を予定。

問 町としては、国依存財源の比率を改善するための方策をど

のように考えているか。財政的な健全性をどのように達成しようとしているのか。

答 町では、過去に「三位一体の改革」で可能な限りの合理化を押し進め、苦境を乗り越ってきた経緯がある。行財政集中改革プランを策定し、全職員一丸となって行財政改革に当たってきた。

現在の先行き不透明な状況で改革の手を緩めるわけには参りませんので、引き続き行財政改革のための計画を現在策定している。この中では、職員数の減少に対応するための体制整備や

意識改革、計画行政の推進などを掲げ改革に取り組むこととしている。

問 町財政に関する状況を町民に適切に知らせる努力を行っているのか。

答 財政状況の公開については、現在毛呂山町ホームページ及び広報紙において予算・決算内容の公開を行っている。

決算資料の内容については、出来るだけ分かりやすく提供しているつもりだが、まだ不十分な点があり更に改善する予定。



町の掲示板



建替えが望まれる上町保育園

今後の町の保育行政、 どのような施策か

新年度予算に新保育園設計委託 800万円計上

菅野 博子 議員

問 今後の町の保育行政についてどのような施策を考えているか。

答 新年度予算に新保育園設計委託料800万円を計上。それに併せて子育て親子の交流の場として子育て支援センターの

設置や保育サービスの充実として病後児保育も必要であると考
えております。

問 設計委託料が新年度予算に計上されたことは24年度に建設に着手する予定と受け止めてよいのか。

答 建設を前提に設計予算を計

上した。財政状況等を勘案して
早急に着手したい。

問 町長のご見解は。

答 昨年の7月の臨時議会で補正予算を可決いただいた。その後附帯決議を議会で可決された。その附帯決議の「今後町立3園体制を考慮し、上町保育園について早急に建替えることを前向きに検討すること」を尊重していきたい。次の町長への引き継ぎ事項にきちっと入れて建設に前向きに検討するように。議会の議決を尊重するようにしたい。

問 認定こども園について、2園ともに施設整備が順調に進ん

でいるとのこと何よりですが、
新しく入園される予定者数は、
どのように町は捉えているか。

答 入所率25・7%で良いと考えている。

問 認定こども園が町立保育園に与える影響は大きいか。

答 認定こども園は開設当初であり今後の運営等によってどのように変わるか予測がつかないが、現時点では経済状況の低迷等によって共働기가かなり増えている。保育需要もそれに伴い増加傾向にある。認定こども園の開設が町立保育に対して大きな影響はないと考える。

農業振興地域と農用地指定 の見直しを

農業者の意見を踏まえ見直しを検討

下田 一甫 議員

問 農業振興地域制度の整備に関する法律が昭和44年に制定。この後農地法改正もされている。さらに平成22年には食糧の自給率向上のため優良農地の確保と有効利用の促進が上げられ体制の適正な運用により優良農地の確保が一層求められるようにな

ってきた。このような状況下、
当町でも昭和45年に農振の地域指定を受け37年間見直しがされないまま経過している。この間都市計画法により住宅系の区域指定もされている。このように農地に係る土地の指定状況下、
農振法の目的とは裏腹に住宅に

よるスプロール現象が進み、かつ、農地の不耕作、耕作放棄地が目立つばかりか農地の所有者が農用地指定が掛かっている事すら知らない方が殆どで農業振興地域制度に相反すると考えられる。指定をどう考えるか。

答 農用地指定を行ってから長年経過している。農業者の高齢化、担い手の減少、農産物価格低迷を背景として未耕作地や耕作放棄地が発生している。又、農用地指定を把握していない農業者もいると考えられる。町では中山間地域等直接支払い事業により遊休農地化等の防止のため

農地の保全、活用、農業の振興を推進してきた。一昨年農地制度の見直しが行なわれ農地法などの法律と併に関する農振法も改正され、優良農地の確保、農用地区域除外の厳格化により担い手が安心して土地を集約出来るようすること。公共施設用地への転用により集団的な農用地の無秩序な壊廃防止が改正のねらいとされた。このような制度の見直しを踏まえ農用地指定した優良農地の確保と未耕作地の解消に向け努力する。



農業振興地域内の整備された水田

来年度予算の重点は！

洋式トイレ、 校舎の木質化を進める

岡野 勉 議員

洋式できれいなトイレ実現へ

問 来年度、町の予算。歳入で町民税の落ち込みが顕著。法人税400万円の増額に対し、個人町民税が1億3900万円も減額している。原因は町民所得の減少か。

答 町民所得の減少が原因と考えられます。この10年間で本町の給与所得者の平均額は、約480万円から410万円へと14%も減額している。これでは、購買意欲も削がれ、景気が向上しません。なお、12月議会では7人の議

員から「景気対策や企業誘致」「雇用対策」など一般質問が集中した。近年にない意気込みを感じました。町としては、改善点など見出せましたか。

答 来年度の一一般会計予算では、「安全と安心のまちづくり」を基本とし、障がい者福祉施設の充実、引き続き子ども医療費を中学校終了までとし、防災対策としては、庁舎耐震補強事業を継続して参ります。教育対策では、小学校トイレ改修工事、中学校木質化改修工事の設計業務委託料を計上しました。

問 定員オーバーと聞くが！

答 定員オーバーはどのくらいの頻度で起きていますか。どの停留所か、具体的対策は。

問 平成21年度は1便4・1人の利用でしたが、平成22年度は1便5・4人の利用があります。定員オーバーの現状は「週1回」の割合で起きている。対策は運行車両を増やすことや大型化が考えられますが、今後の課題として取り組みます。

要望 今、町内循環バスが定着の足の確保」としても、しっかりと対応してほしい。

期日前投票の宣誓書を 簡素化に

今後慎重に検討

川上 伸子 議員

問 期日前投票は全国的に増加傾向にあると聞きます。しかし、期日前投票時、宣誓書記入をする際、特に高齢者や障害者の方などは職員の見ている前で記入すると緊張して手が震えて書けなかった。頭が真っ白になり肝心な投票すべき人の名前を思い

出せなかったなどの声が寄せられております。そこで、その場での記入に戸惑う方の配慮として投票入場券の裏側に宣誓書を印刷することで事務手続がスムーズに進み投票率もアップしている自治体があると聞きますが町の考えをお伺いいたします。

答 高齢者の方が少しでもリラックスして記入出来る配慮と投票に来られた有権者がスムーズに宣誓書への記載が出来るよう記載場所の配置等を更に創意工夫をしていきたいと考えます。

薬物乱用防止

問 体と心をボロボロにする薬物乱用は近年社会に大きな影響を与えています。青少年の乱用には様々な要因があると思えます。対症的指導だけではなく生徒の心の内面にせまる指導を適切に行わなければ根本的解決にはなりません。児童生徒を対象とする「一次予防」が本質

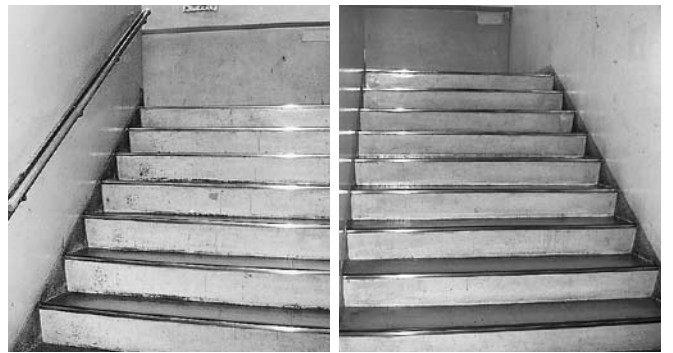


宣誓書の簡素化で投票率のアップを

学校トイレ、臭いの改善は

2年に1度の排水管清掃を検討

小峰 明雄 議員



毛呂山中・川角小の階段に手摺を！

問 平成22年度、教育費の予算執行の成果は。
答 教育振興基本計画の策定。校舎の耐震補強工事を実施し、児童生徒の安全が図られた。教育センターに所長・指導主事を配置し、充実が図られ

た。放課後子ども教室を毛呂山中学校区にも教室を新たに開設し拡充を図った。やぶさめサミットの開催。毛呂山町史の刊行。
問 学校図書館の図書達成率は。
答 毛呂山小・光山小・川角中が標準冊数に達していないが、補正で対応し来年度中に、全校

が標準冊数以上になる見込み。
問 新学習指導要領は、平成23年4月から小学校で全面实施。
答 教材等の整備は概ねできたと思う。教育課程説明会に参加した教職員による伝達研修会を各学校で実施。外国語活動は、3年間連続で授業研究会を実施。電子黒板の設置を行い、文部科学省より配付のデジタル教材の有効活用が図れるよう整備した。
問 既存の学校施設のバリアフリー化の推進と計画的な整備は。
答 必要に応じて工事を実施している。今後、計画的な整備に取り組んでまいりたいと考える。

問 毛呂山町子ども会育成会連絡協議会を構成する単位子ども会が減少傾向ですが、支援策は。
答 今後は単位子ども会の活性化に向けた取り組みを毛呂山町と協力して実施したいと考える。
問 毛呂山町行財政集中改革プランの（平成17年度から平成21年度）成果と今後の取り組みは。
答 税の徴収対策、使用料・手数料の見直しなどの歳入確保策と、人件費削減、施設等維持費の見直しなどの歳出削減策を大きな柱として、5年間で計画を上回る18億9千万円の財政効果あげた。

もう少し教職員を増やしてほしい

35人を上限とする学級編成の早急な実現を願っている

藤岡 健司 議員

問 教職員の声の中に、もう少し教職員を増やしてほしい。

答 町教育委員会としては、小学校では来年度から、中学校では平成24年度から実施となる新学習指導要領に対応した教育を推進し、個に応じたきめ細かい指導を充実していくために、小

学校1学年以外の学年についても35人を上限とする学級編成の早急な実現を願っている。

問 雇用について

答 町は若者の雇用をどう考えていますか。

答 23年3月大学等卒業予定者の就職内定状況調査の報告によ

ると、就職内定率は全国で68.8%と昨年度と比較して4.3ポイント下回っています。昨今の厳しい経済情勢の下で、新規学卒者や若者の雇用環境も非常に厳しくなっている。
問 中小業者の支援策について
答 小規模工事登録制度の現状と課題

が、30件で金額は535万2848円となっている。件数については、5倍で金額は、約1.7倍に増えている。今後も町内の小規模業者に対して、積極的に発注件数の拡大に努めていく。

問 耐震診断及び耐震補強工事の補助の現状と課題

答 平成21年度は耐震診断の補助については、1件、補助金5万円を補助。耐震改修工事の補助申請なかった。また、本年度については、現時点補助申請はありません。



待たれる少人数学級

表彰

○全国町村議会議長会15年
表彰及び県町村議会議長
会役員感謝状

栗田 秀彦 議員

平成22年度の県町村議会議長会定期総会の席上に於いて、全国町村議会議長会及び県町村議会議長会表彰規定に基づき表彰されました。

○全国町村議会議長会15年
表彰

高橋 達夫 議員

○県町村議会議長会25年表
彰

岡部 和雄 議員

○全国町村議会議長会15年
表彰

小峰 明雄 議員

○全国町村議会議長会表彰

毛呂山町議会

全員協議会

【2月28日】

(1)毛呂山町都市計画法に基

づく開発許可等の基準に
関する条例

・埼玉県知事から、都市計
画法に基づく開発許可等

の権限が移譲されるので
許可基準等を定めた。

(2)毛呂山町手数料条例の一

部を改正する条例
・権限移譲に伴い、手数料

を定めたものです。

(3)平成23年度一般会計予算

(案)の概要説明

(4)公的資金補償金免除繰上

償還に係る公営企業経営
健全化計画について

【3月8日】

◆議会協議

(1)組合議会議員の欠員補充
について

(2)議員研修について
(3)その他

傍聴席

議会の動き

1月20日	第71号議会だより発行
21日	第1回(1月)議会臨時会
28日	埼玉県町村議会議長会役員会 (県民健康センター)
2月 4日	全員協議会
9日	入間郡町村議会議長会 (毛呂山町役場)
10日	坂戸地区衛生組合議会定例会
14日	西入間広域消防組合議会定例会
15日	埼玉県町村議会議長会正副議長 及び事務局長合同研修会 (県民健康センター)
15日	広域静苑組合議会定例会
15日	埼玉西部環境保全組合議会定例会
21日	議会運営委員会
24日	毛呂山・越生・鳩山公共下水道 組合議会定例会
28日	全員協議会
28日	第1回(3月)定例会
3月18日	埼玉県町村議会議長会定期総会 及び自治功労者表彰式 (県民健康センター)
7日	議会運営委員会
8日	全員協議会
18日	議会運営委員会
4月 5日	埼玉県町村議会議長会役員会 (県民健康センター)

次回定例会は6月です。

3月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
2月28日(月)	0
3月2日(水)	38
3月3日(木)	3
3月4日(金)	0
3月7日(月)	6
3月8日(火)	0
3月18日(金)	0

あしがき

3月11日に発生した東日本
巨大地震はマグニチュード
9.0という大震災により東
日本の広範囲にわたり未曾有
の被害をもたらしました。被
災地の方々に心よりお見舞い
申し上げます。また、東京電
力福島原子力の損傷により、
国内各地においては計画停電
等、大きな影響を及ぼしてい
ます。安全と一日も早い復旧
を心より願うものです。町政
も23年度がスタートし、新町
長も誕生します。新体制のも
と「議会だより」もさらに充
実した紙面作りに努力してま
いります。

川上 伸子

編集委員

委員長 川上 伸子
副委員長 宮寺 征二
委員 藤岡 健司
下田 一甫
岡野 勉
伊藤 和由

アドバイザー

(議長) 堀江 快治